

全体	38
個別	10-01

令和2年度〔中対馬振興部〕目標の成果

課名等	地域振興課
-----	-------

区分	項目	中対馬未来づくりアクションプランの推進
1	【内容】	平成30年3月に策定した中対馬未来づくりアクションプランにより、地域資源や観光・産業の実態から浮かび上がる課題を踏まえたうえで、新たな価値創造のために重要なターゲットと考えられる「世界のすべての女子」に着目し、リトリート（癒やし）とアクティビティ（体験）の創出による観光客をきっかけとした活性化・地域振興を目指します。 また、今年度は昨年度養成したシーカヤック・SUPのインストラクターによる体験事業の受け入れ態勢構築に積極的に取り組んでまいります。
組織目標	【指標】	<p>[達成年度] アクションプランにおいて中期期間の期末となる令和9年度を当面の達成年度とします。</p> <p>[今年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場整備事業：二人用コテージ3棟の建設 ・シーカヤック、SUPインストラクター養成事業：令和3年度の105人の体験者数を目指し、本年度中は受け入れ態勢の協議等、仕組みづくりに取り組みます。今年度の体験者数はコロナの影響を考慮し現状維持の25組を目指します。 ・ご当地スイーツ開発：令和3年度に2品の新商品完成を目指し、試作品の完成を目指します。 ・青海の花畑スポット整備：今年度中にPCフェンス240mの設置を行うとともにそば等の作付けに取り組んでまいります。
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場整備事業：二人用コテージ3棟の建設については、園地事業の変更手続きに時間を要したため、次年度建設に変更しました。 ・シーカヤック・SUPインストラクター養成事業：コロナウイルス感染症の影響で夏場の受け入れが出来なかったことにより、会の発足（設立総会）までは行ったものの事業の実施は断念しました。 ・ご当地スイーツ開発：コロナウイルスの感染防止対策のため断念しました。 ・青海の花畑スポット整備：そばの作付けを約7,400㎡で実施しましたが、PCフェンスの設置について、国の交付金事業におけるハード・ソフト事業費の調整により中止しました。
3	評価	<p>△</p> <p>ソフト事業は、全体的にコロナウイルス感染症の影響を受けほぼ実施することが出来ませんでした。そばは作付けを実施しましたが、開花前に台風の影響を受け、ほぼ壊滅状態となってしまいました。なお、キャンプ場整備事業については、園地事業の変更と野営事業の承認に時間を要したため、次年度の実施に計画変更を行いました。</p> <p>シーカヤック及びSUPについては、コロナウイルスで断念したものの、インストラクターの会の設立総会までは行っており、事業着手の準備は整えることができました。</p>
4	今後の展開	実施できなかった、キャンプ場整備事業（コテージ整備）を令和3年度に完了し、併せて福岡市内の交通広告等を活用したPR事業並びに観光冊子等の作成に取り組み、中対馬地域のPR強化に取り組みます。